



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場取引所 札

上場会社名 日本グランド株式会社
 コード番号 2976 URL <http://www.nippon-grande.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	171	△28.2	△84	—	△89	—	4	—
2020年3月期第1四半期	238	—	△59	—	△66	—	△42	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 4百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △42百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.08	3.76
2020年3月期第1四半期	△41.80	—

(注) 1. 2019年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,046	1,551	25.7
2020年3月期	7,805	1,541	19.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,551百万円 2020年3月期 1,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,207	△6.9	51	△84.2	52	△84.8	106	△55.1	88.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	1,203,500株	2020年3月期	1,150,000株
2021年3月期1Q	一株	2020年3月期	一株
2021年3月期1Q	1,195,269株	2020年3月期1Q	1,021,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による個人消費の低迷や経済活動の停滞が鮮明になってきており、国内外の経済は先行き不透明な状況であります。緊急事態宣言解除後の政府の政策により、消費活動に持ち直しの兆しが見られたものの、回復には程遠い状態にあり、今後の感染の動向に注視していくことが必要な状況となっております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、マンション及び戸建住宅用地の高騰と人手不足等の要因による建築費の高騰に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により消費者マインドに変化がみられ、賃貸市場では地域性や用途別で格差が生じておりますが、金融政策による低金利が継続する住宅ローン等で住宅需要は下支えされております。また、不動産業界をはじめ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は予断を許さない状況にありますが、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績に重大な影響は観測されておられません。

このような状況の中、当社グループの主力事業である不動産分譲事業では、当第1四半期連結累計期間において、既存の分譲マンション1戸の引渡となり、総引渡戸数は1戸(前年同期比2戸減)となりました。なお、当連結会計年度における新築分譲マンションは、第4四半期連結会計期間に3物件の竣工・引渡を予定しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は171,454千円(前年同期比28.2%減)、営業損失は84,965千円(前年同期は59,387千円の営業損失)、経常損失は89,630千円(前年同期は66,473千円の経常損失)となりました。また、賃貸用不動産の売却による固定資産売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,881千円(前年同期は42,699千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

当第1四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、前期繰越在庫1戸(前年同期比1戸減)の引渡を行っております。また、当第4四半期連結会計期間に竣工予定の「グランファーレ円山北レジェンドスクエア」及び「グランファーレ札幌山鼻レガリア」、「グランファーレ円山公園南コートハウス」の3物件につきましては販売を継続しております。

分譲戸建住宅事業におきましては、前期繰越在庫の引渡はありませんでした(前年同期比1戸減)。

当第1四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は1戸(前年同期比2戸減)、売上高は24,838千円(前年同期比78.2%減)となりました。主な減少の要因としては、繰越在庫の引渡が、前第1四半期連結累計期間よりも減少したことによるものであります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、当第1四半期連結累計期間での経営成績への大きな影響はありません。

その他の売上高は6,474千円(前年同期比107.5%増)となりました。

この結果、不動産分譲事業の売上高は31,312千円(前年同期比73.3%減)となり、セグメント損失は72,017千円(前年同期は45,313千円のセグメント損失)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、入居率の維持及び向上を図り、賃貸料収入は69,156千円(前年同期比3.9%増)となりました。なお、当第3四半期連結会計期間には当事業の6施設目となる「グランウエルネス福住」をオープンする予定であります。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は14,792千円(前年同期比5.8%減)となりました。主な減少の要因としては、入居率が前年同期の水準には至らなかったことによるものであります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、当第1四半期連結累計期間での経営成績への大きな影響はありません。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は29,116千円(前年同期比110.4%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は113,064千円(前年同期比17.7%増)となり、セグメント利益は45,397千円(前年同期比8.7%減)になりました。主な減少の要因としましては、前期にサービス付き高齢者向け住宅事業の一部を当社グループでの運営に転換したことによる人件費の増加等であります。セグメント利益率につきましては、上記の記載に伴い40.2%(前年同期比11.6ポイント減)となりました。

(不動産関連事業)

マンション管理事業におきましては、分譲マンション及びサービス付き高齢者向け住宅、収益物件の管理棟数が増加したこと等により、売上高は23,760千円(前年同期比16.0%増)となりました。

その他の売上高は3,317千円(前年同期比35.3%減)となりました。主な減少の要因としましては、物品販売高等が減少したことによるものであります。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、当第1四半期連結累計期間での経営成績への大きな影響はありません。

この結果、不動産関連事業の売上高は27,077千円(前年同期比5.7%増)となり、セグメント利益は3,753千円(前年同期比663.2%増)となりました。セグメント利益率につきましては13.9%(前年同期比12.0ポイント増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,759,087千円減少し、6,046,146千円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,397,671千円減少し、3,053,531千円となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて361,416千円減少し、2,992,615千円となりました。流動資産の主な増加の要因は、仕掛販売用不動産の増加378,928千円であり、主な減少の要因は、現金及び預金の減少1,692,416千円及び売掛金の減少51,095千円、販売用不動産の減少22,284千円であります。固定資産の主な減少の要因は、有形固定資産の減少360,356千円であります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,769,542千円減少し、4,494,374千円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,030,767千円減少し、2,450,156千円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べて738,774千円減少し、2,044,218千円となりました。流動負債の主な増加の要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加690,500千円及び短期借入金の増加517,000千円であります。主な減少の要因は、預り金の減少1,161,936千円及び買掛金及び工事未払金の減少492,923千円、未払金の減少536,670千円であります。固定負債の主な減少の要因は、長期借入金の減少730,142千円であります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて10,454千円増加し、1,551,772千円となりました。主な増加の要因は、新株予約権の行使により資本金が8,560千円、資本準備金が8,560千円増加したことであり、主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方、配当金の支払に伴い利益剰余金が6,618千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(2020年5月25日)で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響について、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,251,900	559,483
売掛金	57,540	6,445
販売用不動産	769,530	747,245
仕掛販売用不動産	1,266,402	1,645,331
その他のたな卸資産	7,415	10,902
その他	98,413	84,123
流動資産合計	4,451,203	3,053,531
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,316,882	2,076,649
土地	872,626	753,314
建設仮勘定	117,463	117,463
その他（純額）	8,466	7,655
有形固定資産合計	3,315,438	2,955,082
無形固定資産	1,735	1,562
投資その他の資産	36,858	35,971
固定資産合計	3,354,031	2,992,615
資産合計	7,805,234	6,046,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	605,878	112,954
短期借入金	746,000	1,263,000
1年内返済予定の長期借入金	158,568	849,068
未払法人税等	100,160	4,650
賞与引当金	2,713	4,711
預り金	1,197,110	35,173
その他	670,493	180,597
流動負債合計	3,480,923	2,450,156
固定負債		
長期借入金	2,667,907	1,937,765
役員退職慰労引当金	23,287	23,390
その他	91,799	83,063
固定負債合計	2,782,993	2,044,218
負債合計	6,263,917	4,494,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	151,750	160,310
資本剰余金	51,750	60,310
利益剰余金	1,337,864	1,331,246
株主資本合計	1,541,364	1,551,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47	△94
その他の包括利益累計額合計	△47	△94
純資産合計	1,541,317	1,551,772
負債純資産合計	7,805,234	6,046,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	238,837	171,454
売上原価	145,718	104,294
売上総利益	93,118	67,160
販売費及び一般管理費	152,505	152,126
営業損失(△)	△59,387	△84,965
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	3
受取手数料	128	411
金利スワップ評価益	—	360
違約金収入	—	1,900
補助金収入	605	186
その他	458	508
営業外収益合計	1,197	3,370
営業外費用		
支払利息	7,568	8,023
金利スワップ評価損	249	—
その他	464	12
営業外費用合計	8,283	8,035
経常損失(△)	△66,473	△89,630
特別利益		
固定資産売却益	—	96,536
特別利益合計	—	96,536
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△66,473	6,906
法人税等	△23,773	2,024
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,699	4,881
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,699	4,881

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,699	4,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△46
その他の包括利益合計	0	△46
四半期包括利益	△42,698	4,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,698	4,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	117,128	96,091	25,617	238,837	—	238,837
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	2,258	2,258	△2,258	—
計	117,128	96,091	27,875	241,095	△2,258	238,837
セグメント利益又は損失 (△)	△45,313	49,744	491	4,922	△64,310	△59,387

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64,310千円には、セグメント間取引消去△2,258千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,312	113,064	27,077	171,454	—	171,454
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	3,339	3,339	△3,339	—
計	31,312	113,064	30,417	174,794	△3,339	171,454
セグメント利益又は損失 (△)	△72,017	45,397	3,753	△22,866	△62,098	△84,965

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,098千円には、セグメント間取引消去△3,339千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,758千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。